

令和 3 年 度
第 65 回 簿 記 検 定 試 験
1 級 (会 計)

問 題 用 紙

(制限時間 1 時間30分)

(令和 3 年12月12日施行)

— 受験上の諸注意 —

- ・ 答案はすべて答案用紙に記入すること。
- ・ すべての答案用紙に受験番号を記入すること。
- ・ その他答案の作成にあたっては、教科書に基づき日頃
学校で指導を受けている記帳の方法によって、正確・
迅速・整然と記帳すること。

佐賀県高等学校教育研究会商業部会主催

1 次の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現金	当座預金	受取手形	売掛金
売買目的有価証券	前払金	未収金	機械装置
支払手形	買掛金	前受金	未払金
保証債務	社債	資本金	資本準備金
その他資本剰余金	自己株式	売上	有価証券利息
仕入割引	保証債務取崩益	有価証券売却益	社債償還益
仕入	手形売却損	保証債務費用	有価証券売却損
売上割引	社債償還損	試用販売契約	試用仮売上

(1) 佐賀商店に対する買掛金 ¥800,000 の支払いにあたり、期日前のため、契約によって2%の割引を受け、割引額を差し引いた金額は現金で支払った。

(2) 嬉野商店に試用販売のため、商品 ¥280,000 (売価) を送付してあったが、本日、全額を買い取るものの意思表示があった。なお、対照勘定を用いて処理している。

(3) 鳥栖工業株式会社(決算年/回)は、次の条件で発行した社債のうち、額面 ¥60,000,000 を発行後8年目の初頭に額面 ¥100 につき ¥98.50 で買入償還し、小切手を振り出して支払った。なお、社債の評価は償却原価法(定額法)によっている。

発行条件	額面総額 ¥80,000,000	払込金額	額面 ¥100 につき ¥97.00
	償還期限 10年	利 率	年2.1%

(4) 武雄商事株式会社は、得意先三田川商店振り出しの約束手形 ¥1,000,000 を取引銀行で割り引き、割引料を差し引かれた手取金 ¥983,000 は当座預金とした。なお、保証債務の時価は手形額面金額の2%と見積もった。

(5) 唐津商店は、季節ごとの商品(全12回)を送る契約で予約を受け付けたところ、100件(1件あたり ¥1,200)の申し込みがあり、予約金 ¥1,200,000 が当座預金口座に振り込まれた。

(6) 売買目的で保有している伊万里商事株式会社の社債 額面 ¥40,000,000 のうち ¥10,000,000 を額面 ¥100 につき ¥99.40 で売却し、代金は端数利息 ¥70,000 とともに小切手で受け取った。ただし、この額面 ¥40,000,000 の社債は、当期に額面 ¥100 につき ¥98.60 で買入れたものであり、同時に買入手数料 ¥120,000 および端数利息 ¥250,000 を支払っている。

(7) 三菱産業株式会社は、自己株式(1株の帳簿価額 ¥70,000)のうち、50株を1株につき ¥80,000 で売却し、受け取った代金は、当座預金とした。

(8) 神埼商店は、機械装置 ¥9,000,000 を買入れ、代金は月末払いとした。なお、引取運賃 ¥580,000 据付費 ¥120,000 試運転費 ¥80,000 は現金で支払った。

2 次の各問いに答えなさい。

(1) 三菱基商事株式会社は、中原物産株式会社(発行済株式数200株)の株式20株(帳簿価額 ¥7,200,000)を保有し、実質的に支配している。同社の株式は時価の把握がきわめて困難なため、決算にあたり、同社の財政状態を確認したところ次の資料のとおり悪化していたので、実質価額によって評価替えした。

- 1株当たりの実質価額を求めなさい。
- 子会社株式評価損の金額を求めなさい。

資 料

中原物産株式会社		貸借対照表 令和3年3月3日		(単位:円)
資産総額	22,000,000	負債総額	17,000,000	
繰越利益剰余金	580,000	資本金	5,580,000	
	22,580,000		22,580,000	

(2) 基山建設株式会社は決算(年/回)にあたり資料を得たので、次の金額を答えなさい。

- 工事進行基準で当期の工事収益を求めなさい。
- 生産高比例法で建設機械Aの減価償却費を求めなさい。ただし、残存価額は零(0)とする。

資 料

- 当期に新工場建設について受注し、3年後完成の予定で建設を開始した。工事収益総額 ¥600,000,000 見積工事原価総額 ¥480,000,000 当期発生工事原価 ¥168,000,000 であった。
- 当期購入した建設機械A(取得価額 ¥20,000,000)については、総稼働可能時間は43,800時間、当期の稼働時間は1,752時間であった。

(3) 令和3年4月/日、上峰商会は神埼商会を取得し、取得金額は小切手を振り出して支払った。資料により、次の金額を答えなさい。

- 収益還元価値を求めなさい。
- のれんの金額を求めなさい。

資 料

- 神埼商会の平均利益額 ¥228,000、同種企業の平均利益率8%として収益還元価値を求め、これを取得金額とする。
- 神埼商会の資産と負債の時価は、土地が ¥1,200,000 であるほかは帳簿価額と等しいものとする。

神埼商会		貸借対照表 令和3年4月/日		(単位:円)
現金預金	2,300,000	支払手形	2,100,000	
受取手形	1,800,000	買掛金	1,500,000	
売掛金	900,000	長期借入金	1,000,000	
商品	800,000	資本金	2,000,000	
土地	800,000			
	6,600,000		6,600,000	

- (4) 太良商事株式会社（決算年/回）の資料によって ①流動比率 ②固定比率 ③総資本利益率 ④商品回転率を求めなさい。なお、商品回転率は売上原価と商品平均有高を使用すること。

資 料

- i 期首商品棚卸高 ¥ 4,200,000
ii 売上原価 ¥ 59,800,000
iii 当期純利益 ¥ 4,692,000

貸借対照表

太良商事株式会社		令和3年3月3日		(単位:円)	
資 産	金 額	負債及び純資産	金 額		
現金預金	5,700,000	支払手形	5,310,000		
受取手形	5,500,000	買掛金	6,690,000		
売掛金	6,600,000	長期借入金	9,000,000		
商品	5,000,000	資本金	22,000,000		
建物	21,000,000	資本剰余金	2,310,000		
備品	7,200,000	利益剰余金	5,690,000		
	51,000,000		51,000,000		

- ③ 次の各文の () にあてはまるもっとも適当な語を、下記の語群のなかから選び、その番号を記入しなさい。

- (1) その他資本剰余金を配当する場合は、その配当により減少する額の (ア) を、準備金の合計額が資本金の (イ) に達するまで、資本準備金として計上しなければならない。
- (2) 商品の払出単価の算定方法を先入先出法から移動平均法に変更すると、財務諸表の (ウ) が困難になり利益操作につながる恐れがある。したがって、一度採用した商品の払出単価の算定方法はみだりに変更してはならない。これは (エ) の原則によるものである。

語群

- | | | | |
|---------|----------|---------|---------|
| 1. 会計記録 | 2. 10分の1 | 3. 2分の1 | 4. 継続性 |
| 5. 明瞭性 | 6. 4分の1 | 7. 重要性 | 8. 期間比較 |

- ④ 鳥栖商事株式会社の総勘定元帳勘定残高と付記事項および決算整理事項は、次のとおりである。

よって、(1) 付記事項および決算整理事項の仕訳を示しなさい。

(2) 報告式の貸借対照表を完成させなさい。

ただし、i 会社計算規則によること。

ii 会計期間は令和2年4月/日から令和3年3月3/日までとする。

元帳勘定残高

現金	¥ 1,678,000	当座預金	¥ 1,490,000	受取手形	¥ 2,000,000
売掛金	4,000,000	貸倒引当金	32,000	売買目的有価証券	3,000,000
繰越商品	4,868,000	仮払法人税等	160,000	建物	6,600,000
建物減価償却累計額	1,760,000	備品	3,000,000	備品減価償却累計額	1,080,000
土地	3,000,000	満期保有目的債券	1,800,000	その他有価証券	580,000
支払手形	2,700,000	買掛金	3,845,000	短期借入金	3,000,000
長期借入金	4,000,000	退職給付引当金	1,943,000	資本金	9,000,000
資本準備金	520,000	利益準備金	865,000	別途積立金	240,000
繰越利益剰余金	551,000	売上	40,290,000	有価証券利息	80,000
受取配当金	60,000	固定資産売却益	389,000	仕入	32,150,000
給料	3,000,000	広告料	1,200,000	保険料	800,000
水道光熱費	395,000	租税公課	294,000	雑費	190,000
支払利息	150,000				

付記事項

- ① 得意先である北茂安商事から、売掛金 ¥100,000 について当社の当座預金口座に振り込まれていたが、未処理であった。

決算整理事項

- a. 期末商品棚卸高 帳簿棚卸数量 1,200個 原 価 @ ¥3,800
実地棚卸数量 1,180個 正味売却価額 @ ¥3,650
ただし、棚卸減耗損と商品評価損は売上原価の内訳項目とする。
- b. 貸倒見積高 受取手形と売掛金の期末残高に対して、それぞれ/%と見積もり、貸倒引当金を設定する。
- c. 有価証券評価高 保有する株式は次のとおりである。
売買目的有価証券：基山商事株式会社 50株 時価 /株 ¥58,000
その他有価証券：中原物産株式会社 20株 時価 /株 ¥31,400
- d. 減価償却高 建物：定額法により、残存価額は零(0) 耐用年数は30年とする。
備品：定率法により、毎期の償却率を20%とする。
- e. 利息未払高 ¥ 60,000
f. 退職給付引当金繰入額 ¥163,000
g. 法人税・住民税及び事業税額 ¥336,000

1

	借方	貸方			
(1)					
(2)					
(3)					
(4)					
(5)					
(6)					
(7)					
(8)					
受験番号	①	②	③	④	総得点

4

(2)

島栖商事株式会社

貸 借 対 照 表

令和3年3月31日

(単位:円)

資 産 の 部

I 流 動 資 産			
1. 現 金 預 金	(		)
2. 受 取 手 形	2,000,000		
貸 倒 引 当 金	(		)
3. 売 掛 金	(		)
貸 倒 引 当 金	(		)
4. 有 価 証 券	(		)
5. (			)
流 動 資 産 合 計			(
II 固 定 資 産			
(1) 有 形 固 定 資 産			
1. 建 物	6,600,000		
減 価 償 却 累 計 額	(		)
2. 備 品	3,000,000		
減 価 償 却 累 計 額	(		)
3. 土 地		3,000,000	
有 形 固 定 資 産 合 計		(	
(2) 投 資 そ の 他 の 資 産			
1. (			)
投 資 そ の 他 の 資 産 合 計		(	
固 定 資 産 合 計			(
資 産 合 計			(

負 債 の 部

I 流 動 負 債			
1. 支 払 手 形	2,700,000		
2. 買 掛 金	3,845,000		
3. 短 期 借 入 金	3,000,000		
4. (			)
5. 未 払 法 人 税 等	(		)
流 動 負 債 合 計			(
II 固 定 負 債			
1. 長 期 借 入 金	4,000,000		
2. 退 職 給 付 引 当 金	(		)
固 定 負 債 合 計			(
負 債 合 計			(

純 資 産 の 部

I 株 主 資 本			
(1) 資 本 金			9,000,000
(2) 資 本 剰 余 金			
1. 資 本 準 備 金	520,000		
資 本 剰 余 金 合 計			520,000
(3) 利 益 剰 余 金			
1. 利 益 準 備 金	865,000		
2. そ の 他 利 益 剰 余 金			
① 別 途 積 立 金	240,000		
② 繰 越 利 益 剰 余 金	(		)
利 益 剰 余 金 合 計			(
株 主 資 本 合 計			(
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等			
1. (			)
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計			(
純 資 産 合 計			(
負 債 及 び 純 資 産 合 計			(

④(2)

1

	借 方	貸 方
(1)		
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		
(6)		
(7)		
(8)		

受験番号	①	②	③	④	総得点

2

(1)	a. /株あたりの実質価額	¥
	b. 子会社株式評価損	¥

(2)	a. 工 事 収 益	¥
	b. 減 価 償 却 費	¥

(3)	a. 収 益 還 元 価 値	¥
	b. の れ ん の 金 額	¥

(4)	①	流 動 比 率	%
	②	固 定 比 率	%
	③	総資本利益率	%
	④	商品回転率	回

3

ア		イ		ウ		エ	
---	--	---	--	---	--	---	--

受験番号	②	③

4

(1) 付記事項

	借 方	貸 方
①		

決算整理事項

	借 方	貸 方
a		
b		
c		
d		
e		
f		
g		

受験番号	④(1)

4

(2)

鳥栖商事株式会社

貸 借 対 照 表

令和3年3月31日

(単位：円)

資 産 の 部

I 流 動 資 産		
1. 現 金 預 金	()	
2. 受 取 手 形	2,000,000	
貸 倒 引 当 金	()	
3. 売 掛 金	()	
貸 倒 引 当 金	()	
4. 有 価 証 券	()	
5. ()	()	
流 動 資 産 合 計		()
II 固 定 資 産		
(1) 有 形 固 定 資 産		
1. 建 物	6,600,000	
減 価 償 却 累 計 額	()	
2. 備 品	3,000,000	
減 価 償 却 累 計 額	()	
3. 土 地		3,000,000
有 形 固 定 資 産 合 計		()
(2) 投 資 そ の 他 の 資 産		
1. ()	()	
投 資 そ の 他 の 資 産 合 計		()
固 定 資 産 合 計		()
資 産 合 計		()

負 債 の 部

I 流 動 負 債		
1. 支 払 手 形	2,700,000	
2. 買 掛 金	3,845,000	
3. 短 期 借 入 金	3,000,000	
4. ()	()	
5. 未 払 法 人 税 等	()	
流 動 負 債 合 計		()
II 固 定 負 債		
1. 長 期 借 入 金	4,000,000	
2. 退 職 給 付 引 当 金	()	
固 定 負 債 合 計		()
負 債 合 計		()

純 資 産 の 部

I 株 主 資 本		
(1) 資 本 金		9,000,000
(2) 資 本 剰 余 金		
1. 資 本 準 備 金	520,000	
資 本 剰 余 金 合 計		520,000
(3) 利 益 剰 余 金		
1. 利 益 準 備 金	865,000	
2. そ の 他 利 益 剰 余 金		
① 別 途 積 立 金	240,000	
② 繰 越 利 益 剰 余 金	()	
利 益 剰 余 金 合 計		()
株 主 資 本 合 計		()
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等		
1. ()	()	
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計		()
純 資 産 合 計		()
負 債 及 び 純 資 産 合 計		()

④(2)

4	(2)	貸借対照表 令和3年3月31日	(単位:円)
鳥栖商事株式会社			
資産の部			
I 流動資産			
1. 現金預金	(3,268,000)		
2. 受取手形	2,000,000		
貸倒引当金	(20,000)	(1,980,000)	
3. 売掛金	(3,900,000)		
貸倒引当金	(39,000)	(3,861,000)※	
4. 有価証券	(2,900,000)		
5. (商品)	(4,307,000)		
流動資産合計		(16,316,000)	
II 固定資産			
(1) 有形固定資産			
1. 建物	6,600,000		
減価償却累計額	(1,980,000)	(4,620,000)	
2. 備品	3,000,000		
減価償却累計額	(1,464,000)	(1,536,000)	
3. 土地	3,000,000		
有形固定資産合計		(9,156,000)	
(2) 投資その他の資産			
1. (投資有価証券)	(2,428,000)※		
投資その他の資産合計	(2,428,000)	(11,584,000)	
固定資産合計		(27,900,000)	
資産合計			
負債の部			
I 流動負債			
1. 支払手形	2,700,000		
2. 買掛金	3,845,000		
3. 短期借入金	3,000,000		
4. (未払費用)	(60,000)※		
5. 未払法人税等	(176,000)		
流動負債合計		(9,781,000)	
II 固定負債			
1. 長期借入金	4,000,000		
2. 退職給付引当金	(2,706,000)※		
固定負債合計		(6,106,000)	
負債合計		(15,887,000)	
純資産の部			
I 株主資本			
(1) 資本金	9,000,000		
(2) 資本剰余金			
1. 資本準備金	520,000		
資本剰余金合計	520,000		
(3) 利益剰余金			
1. 利益準備金	865,000		
2. その他利益剰余金			
① 別途積立金	240,000		
② 繰越利益剰余金	(1,340,000)※		
利益剰余金合計		(244,000)	
株主資本合計		(11,965,000)	
II 評価・換算差額等			
1. (その他有価証券評価差額金)	(48,000)※		
評価・換算差額等合計		(48,000)	
純資産合計		(12,013,000)	
負債及び純資産合計		(27,900,000)	
4(2)			
※4点×6=24点			

令和3年度
第65回簿記検定試験
1級(会計)

採点基準

(令和3年12月12日施行)

1

	借方	貸方
(1)	買掛金 800,000	現金 784,000 仕入割引 16,000
(2)	売掛金 280,000 試用販売上 280,000	売上 280,000 試用販売契約 280,000
(3)	社債 59,460,000	当座預金 59,100,000 社債償還益 360,000
(4)	当座預金 983,000 手形売却損 17,000 保証債務費用 20,000	受取手形 1,000,000 保証債務 20,000
(5)	当座預金 1,200,000	前受金 1,200,000
(6)	現金 10,010,000	売買目的有価証券 9,890,000 有価証券売却益 50,000 有価証券利息 70,000
(7)	当座預金 4,000,000	自己株式 3,500,000 その他資本剰余金 500,000
(8)	機械装置 9,780,000	未払金 9,000,000 現金 780,000

①	②	③	④	総得点
4点×8=32点	(1)(2)(3) 2点×6=12点 (4)3点×4=12点	2点×4=8点	(1)※4点×3=12点 (2)※4点×6=24点	100点

2

(1)	a. /株あたりの実質価額	¥ 25,000
	b. 子会社株式評価損	¥ 4,200,000
(2)	a. 工事収益	¥ 210,000,000
	b. 減価償却費	¥ 800,000
(3)	a. 収益還元価値	¥ 2,850,000
	b. のれんの金額	¥ 450,000

(4)	①	流動比率	190 %
	②	固定比率	94 %
	③	総資本利益率	9.2 %
	④	商品回転率	13 回

3

ア	2	イ	6	ウ	8	エ	4
---	---	---	---	---	---	---	---

2	3
(1)(2)(3) 2点×6=12点 (4)3点×4=12点	2点×4=8点

4

(1) 付記事項

	借 方	貸 方
①	当座預金 100,000	売掛金 100,000

決算整理事項

	借 方	貸 方
a	仕 入 4,868,000	繰越商品 4,868,000
	繰越商品 4,560,000	仕 入 4,560,000
	棚卸減耗損 76,000	繰越商品 76,000
	商品評価損 177,000	繰越商品 177,000
	仕 入 76,000	棚卸減耗損 76,000
	仕 入 177,000	商品評価損 177,000
b	貸倒引当金繰入 27,000	貸倒引当金 27,000
c	有価証券評価損 100,000	売買目的有価証券 100,000
	その他有価証券 48,000	その他有価証券評価差額金 48,000
d	減価償却費 604,000	建物減価償却累計額 220,000 備品減価償却累計額 384,000
e	支払利息 60,000	未払利息 60,000
f	退職給付費用 163,000	退職給付引当金 163,000
g	法人税等 336,000	仮払法人税等 160,000
		未払法人税等 176,000

④(1)
※4点×3=12点